



月刊

# 社協だより

2021年  
4月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部  
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

## 出来る事を頑張ろう

令和二年度は、コロナに始まりコロナに終わりました。やれない出来ない中でも芸備線復旧一周年記念事業を区役所と共に成し遂げました。敬老祝賀会は形態を大きく変え、お祝の粗品のお届けになりました。

今期も四月を迎えて、変異ウイルスが猛威を振るう予測が出ており予断を許しません。やろうにもやれないという事はウイルス感染対応で仕方ないことです。

出来ない、出来ないと嘆いていても前には進みません。そこで、この令和三年度は、  
①交通支援サービスを實現  
②狩留家なす物流センターの稼働  
③加工食品試作室の稼働と商品化、

の三点をコロナ禍にあっても実現可能な取り組みとして実施していきます。  
①「交通支援サービス」を実現すれば高齢者にとって生活環境が格段に改善され、狩留家での素晴らしい生活環境を享受でき

るようになります。自家用車での運転ボランティアにご協力下さい。(週二回位)

②「狩留家なす物流センター」が稼働すれば、狩留家なすの仕分け費用が削減され、生産者への引渡し価格を引き上げます。その結果生産者が増え、狩留家なすを取り巻く作業が増え、狩留家での就業機会が増えることとなります。狩留家なす栽培参加に協力をお願いいたします。

③「加工食品試作室の稼働と商品化」は規格外を利用することにより栽培した全てのなすを買い上げることが可能になります。栽培収益が大幅に上がります。この取組は、三年～五年後に「狩留家の大幅な活性化」に繋がります。町内の皆様の御協力で狩留家オリジナルの美味しい料理を商品としてお届け出来るようにご参加、ご協力をお願いします。(会長記)

三月資源ごみ売上 一万二千元

理事会報告(令和三年四月十三日)

- 議題
- 一、社協理事の交代について
- 二、令和三年度各部・各サロンの活動計画(案)の作成
- 三、公民館祭りについて(耐震化工事の為中止)

## 狩留家の史跡(八) (薬師堂)



基(六六八〜七四九) 作と言われています。

「その昔、百姓左衛門という者の家に禅僧が包みを抱えて来て一夜の宿を請うた。翌朝、禅僧は包みを預けて旅立った。その包みから光が出ていたので開けてみると薬師如来像が出てきた」と

## 狩留家のおもてなし

狩留家保育園前に祠があります。薬師堂です。平安時代、狩留家は田門庄(たどのしょう)と呼ばれ朝廷の直轄地でした。ここに福寿院寿福寺という寺院がありました。が、衰微し、享徳二年(一四五三)深川院内城主牛尾範光がこの薬師堂を建てたと伝えられています。

現在は無人駅となりましたが、昭和五十八年三月から横田靖子さんが国鉄民営化以前より囑託員として、狩留家の玄関口を守ってこられました。その頃から駅舎の美化に務めて下さり、三十八年経過した現在まで清らかな駅舎が保たれています。現在は大きな花瓶ですが数度花瓶は盗難にあいました。大きな花瓶には季節の花木が乗降者の目を楽しませてくれます。花

「国郡志御用につき下調べ書出帳」に書かれています。

霊験あらたかであり口のはんの木より中に馬を乗り入れると落馬したと伝えられています。

お堂の左側に手水鉢があります。お百度参りされた方がその都度鑿か小石で穿ったあとでこれほど沢山の穴があいているのはめずらしいそうです。それほど信仰されていた証です。

今年の例祭は五月八日(土)で年に一度の御開帳です。

の提供者もあり、常に活力を与えてくれるスペースとなりました。

「いつてらっしゃい。」  
「おかえりなさい。」と、やさしさあふれる狩留家のおもてなしが続いています。

